

## 講演概要

タイトル: ITS による未来創造

講演団体: 特定非営利活動法人 ITS Japan

事故、渋滞などの自動車交通の課題を情報通信技術や電子制御技術を解決すべくITSの取り組みを進めてきた。関係省庁が1996年に取りまとめた全体構想に基づき9つの分野で開発が進展し、世界先駆けて実用化・普及が進み交通課題の解決にも貢献した。

さらに、社会環境の変化や技術革新に対応した2030年頃を想定した次世代のITSのビジョンを描く活動を進めてきた。まず、少子高齢化、エネルギー・環境問題、長引く経済成長の低迷、自然災害など多くの課題を抱えている中で、目指すべき社会像を描き、そのような社会を支えるモビリティのあり方、そして、そこでITSが果たすべき役割を洗い出した。情報通信技術の飛躍的発展と日常生活への急速な浸透、自動車のエネルギー転換や走行制御の技術革新などを最大限に活かしたITSが提供するサービスを整理し、「ITSによる未来想像の提言」としてITS世界会議東京2013において国内外に発信した。具体的なテーマとして下記を掲げ、実現に向けた活動を官民の関係組織に働きかけている。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| (1) 高度運転支援システム  | (2) 移動支援共通プラットフォーム |
| (3) マルチモード輸送の革新 | (4) 道路交通の総合的マネジメント |
| (5) 物流の効率化      | (6) エネルギーの利用の最適化   |
| (7) 国際協力の推進     |                    |

また、ITSは技術的手段であり社会的課題解決に役立てるためには、都市やライフスタイルの多様性に即して、インフラ整備や人の行動の変容と一体となった取り組みが不可欠である。そこで、具体機なシーンを設定して、下記の4枚のイラストに集約して表現した。

図1. 誰もが安心・安全に移動



図2. ネットワーク社会を支える移動



図3. モビリティとエネルギーの最適化



図4. 交通モード連携の最適化

